

小学校の復習 『ともなって変わる量』

1 30個のあめを、1日に3個ずつ食べる。このとき、次の問いに答えなさい。

- ① それまでに食べたあめの個数と、残りのあめの個数を下の表にまとめる。空欄をうめなさい。

食べたあめの数(個)	0	3	6	9	12	15	18	21	24	27	30
残りのあめの数(個)	30			21		15			6		0

- ② それまでに食べたあめの個数を●個と、残りのあめの個数を▲個として、これらの関係を式に表しなさい。

2 1枚20円の色紙を何枚かと、50円の消しゴムを1個買う。このとき、次の問いに答えなさい。

- ① 買った色紙の枚数と、色紙と消しゴムの代金の合計を下の表にまとめる。空欄をうめなさい。

買った色紙の数(枚)	0	1	2	3	4	5	6	7	8
代金の合計(円)	50			110				190	

- ② 買った色紙の枚数を●枚と、色紙と消しゴムの代金の合計を▲円として、これらの関係を式に表しなさい。

小学校の復習 『ともなって変わる量』

1 答え

①	食べたあめの数(個)	0	3	6	9	12	15	18	21	24	27	30
	残りのあめの数(個)	30	27	24	21	18	15	12	9	6	3	0

② ● + ▲ = 30

解説

- ① 食べたあめの個数が増えると、残りのあめの個数は同じだけ減っていく関係になっている。
- ② それまでに食べたあめの個数と、残りのあめの個数の和は、最初にあったあめの個数30個に等しい。

2 答え

①	買った色紙の数(枚)	0	1	2	3	4	5	6	7	8
	代金の合計(円)	50	70	90	110	130	150	170	190	210

② $20 \times \bullet + 50 = \blacktriangle$

解説

- ① 買った色紙の枚数が1枚増えると、色紙と消しゴムの代金の合計が20円ずつ増えていく関係になっている。